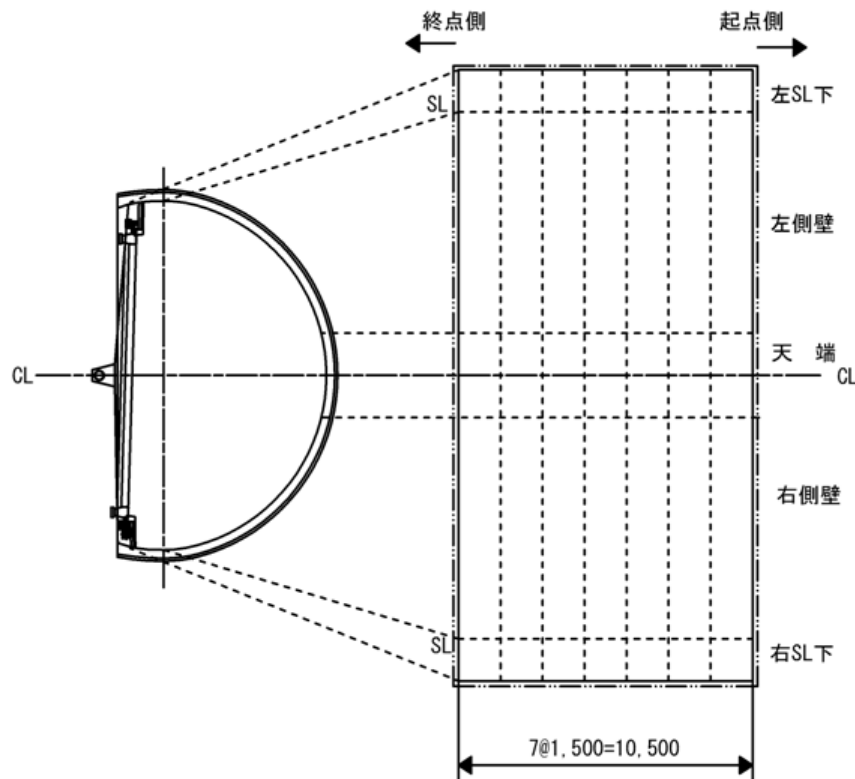


トンネル覆工コンクリート用の目視評価法の開発

覆工コンクリートに特有の不具合を、項目に分け、4段階評価

剥離、表面気泡、水はしり・砂すじ、色むら・打重ね線、施工目地不良、型枠窓枠段差等



調査時期	脱型直後から初期養生終了後にかけて実施				
調査方法	・近接できない範囲は、覆工センターから照明を当てながら観察				
	評価点	4	3	2	1
①	剥離	無し	50cm四方程度の大きさで見られる	1m ² 程度の大きさで見られる	2点の状態以上に広範囲に見られる
②	気泡 (1.5m × 1.0m範囲で調査)	5mm以下の気泡がほぼ無し	5mm程度の気泡が10ヶ程度見られる	10mm以上が10ヶ程度または5mm以下が20ヶ程度見られる	10mm以上が20ヶ程度見られる
③	水はしり・砂すじ	無し	一部に見られる(全体の1/10程度)	やや多く見られる(全体の1/3程度)	2点の状態以上に広範囲に見られる
④	色むら、打重ね線	ほぼ無し	一部に見られる(全体の1/10程度)	全体の半分程度にみられる	2点の状態以上に広範囲に見られる
⑤	施工目地不良	無し	一部に見られる(1/10程度)	多く見られる(1/3程度)	側壁全てに見られる(天端に見られたら1)
⑥	検査窓枠段差	無し	1箇所程度見られる	2~3箇所見られる	3箇所を超える個所に発生